

第47期（2024年3月期） 第2四半期決算補足資料



STANDARD
TOKYO

アズマハウス株式会社

2023年11月14日

会社概要

会社名	アズマハウス株式会社
英訳名	AZUMA HOUSE Co., Ltd.
設立	1977年（昭和52年）5月2日
代表者	代表取締役社長 東 行男
本社所在地	和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号
従業員数	203名（連結302名）
資本金	5億9,676万円
取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：3293）
株主数	2,786名（2023年9月30日現在） 発行済株式数 8,063,400株（2023年9月30日現在）
単元株数	100株 基準日 3月31日・9月30日
事業内容	不動産業、不動産賃貸業、建設業、ホテル業、飲食業、保険代理店業
連結会社	株式会社賃貸住宅センター、株式会社シージェーシー管理センター、株式会社アイワライフネット、こうこく不動産株式会社



社長挨拶（トップコメント）

当社グループにおける第47期（2024年3月期）第2四半期（2023年7月1日から2023年9月30日）の業績は、前年同期と比較して減収減益となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、物価上昇は一時的な落ち着きが見え始めたものの、世界的なインフレ圧力により金融引き締め政策が継続され、また、為替相場においても円安が進み、資材原価等は依然として高止まりする状況が続いております。住宅市場は、新設住宅着工戸数は、戸建住宅が減少する傾向にあるものの潜在需要は強いものと考えております。賃貸住宅については、増加傾向にあり、底堅い状況が続いております。当社グループにおいては、商品の性能・品質に加え、快適性や利便性などの付加価値を追加することで消費マインドを刺激し、事業の回復に努めてまいりました。

そのような中、当社グループは、お客様ニーズと品質の維持・向上を徹底的に追求し、可能な限りコストを抑え、かつお客様に満足していただける住宅を提供するために建物仕様・設備を見直し、建築コストの削減を図り、お客様サービスの向上に努めてまいりました。また、セグメント間シナジー効果を高めるために既成概念にとらわれず、総合不動産会社であるメリットを最大限に活かし、販売戦略をダイナミックに考えてまいりました。引き続き、売上構成比を分析することで、強み・弱みなどを把握し、商品・サービスの向上に努めてまいります。

サステナビリティにつきましては、「人も環境も健康に」をスローガンとして掲げ、「健康経営優良法人2023（中小規模法人）」の認定をはじめとする働きやすい環境づくりを目指し、業務効率の向上を図っております。また、地域社会の発展と住みやすい街づくりを実現するために子どもたちの未来を創造する企業を目指しております。今後も事業活動において実現可能と思われる取り組みを検討し、地域社会・環境社会の発展に貢献してまいります。



アズマハウスは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

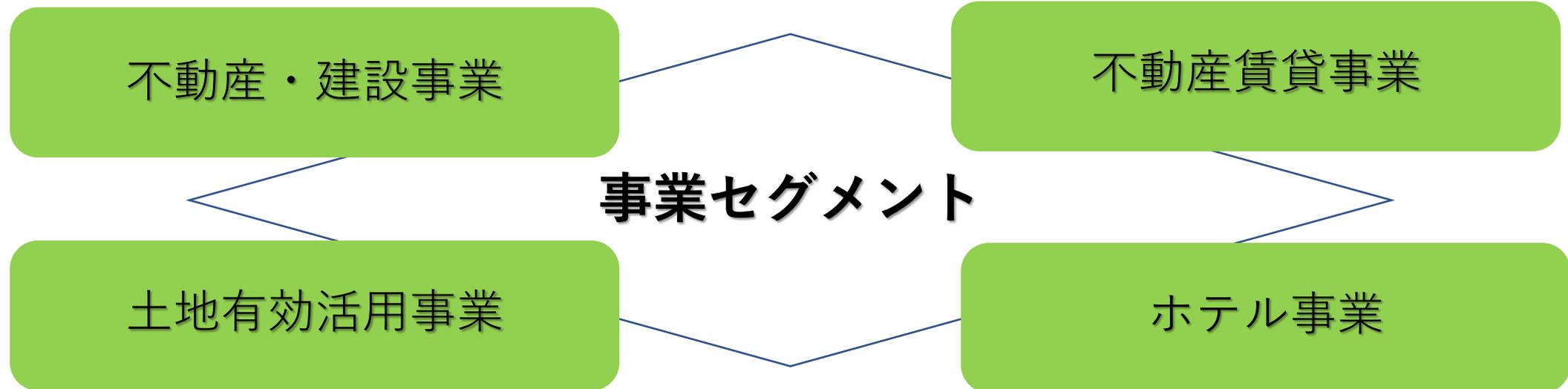
事業概要

～経営理念～

私たちアズマハウスは、全ての分野において「より大切に、より迅速に、すべてはお客様のために」をモットーに、商品の品質・性能・お客様への対応・サービスの向上は無限と考え、徹底してこだわり、お客様満足を徹底的に追及していく所存であります。

～サステナビリティ基本方針～

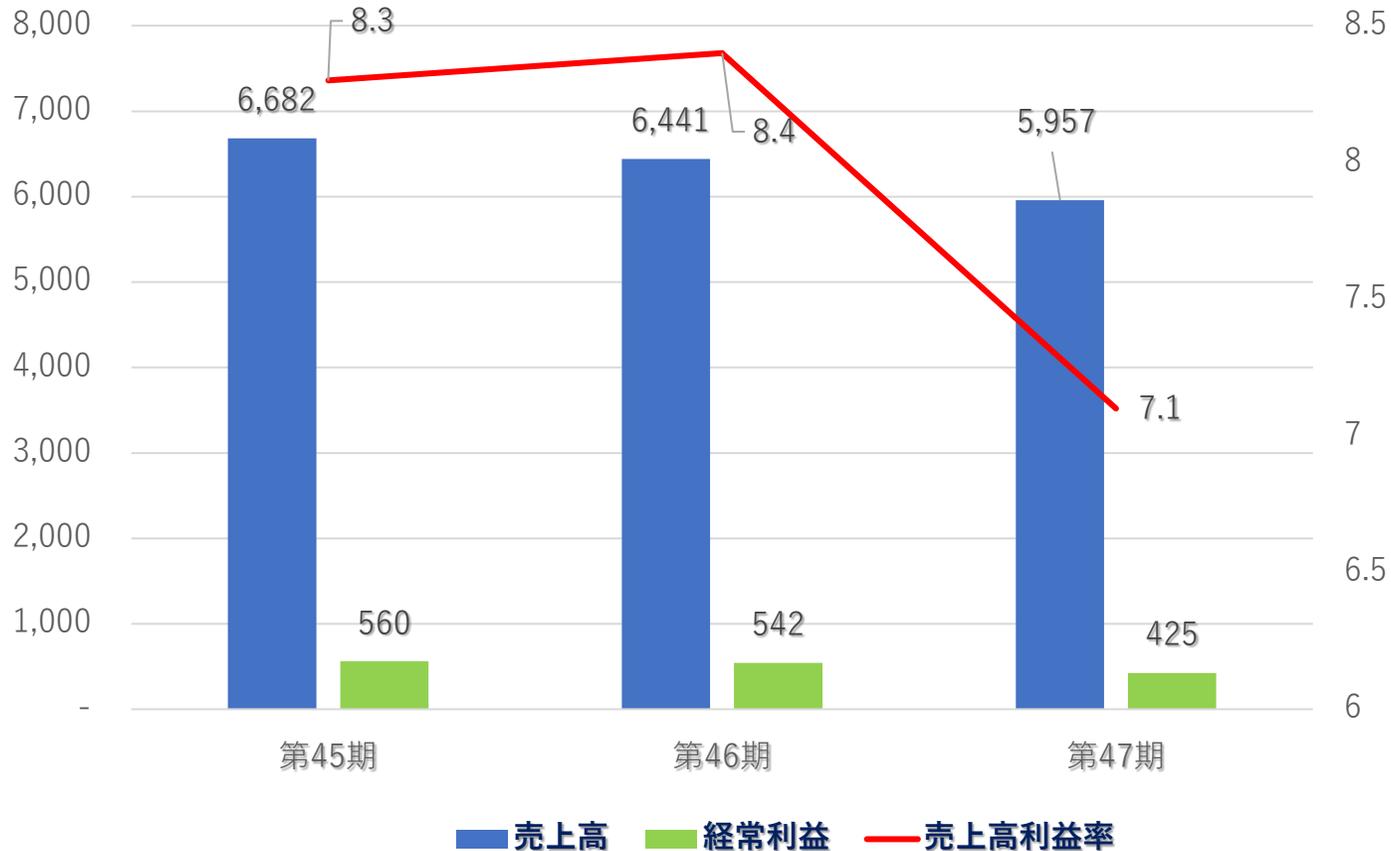
「人も環境も健康に」



連結決算（サマリー）

売上高・経常利益・売上高利益率の推移

（単位：百万円）



第47期売上目標 13,330百万円

第47期経常利益目標 1,070百万円

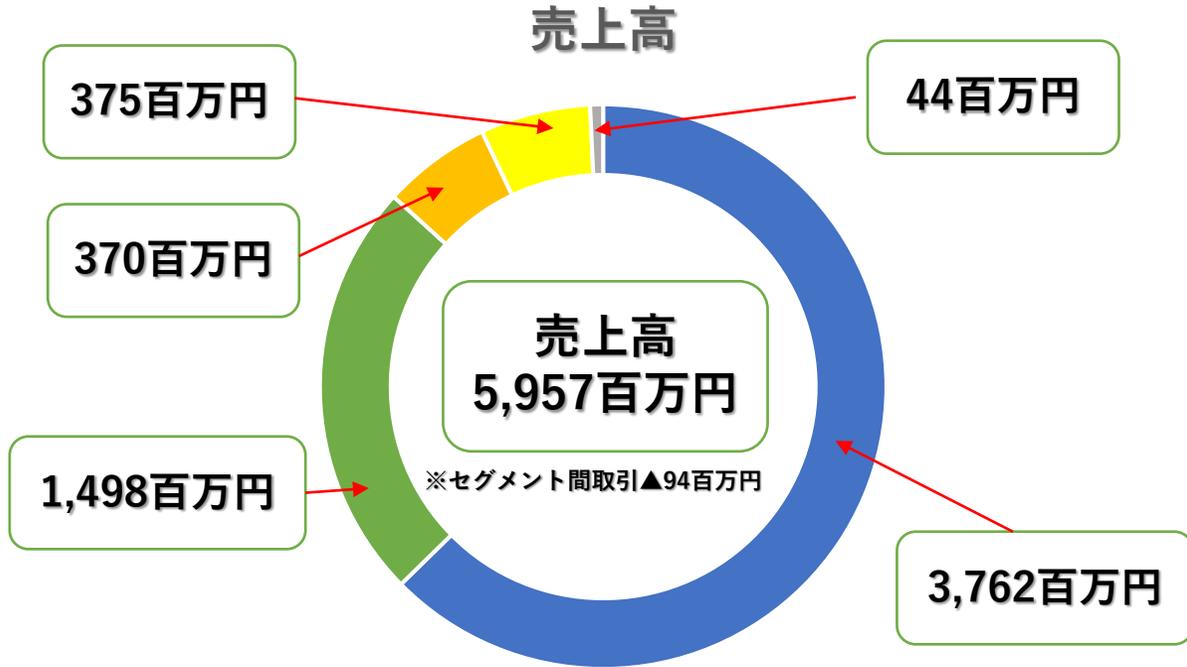
売上高 5,957百万円
（予算比97.7%）

経常利益 425百万円
（予算比90.4%）

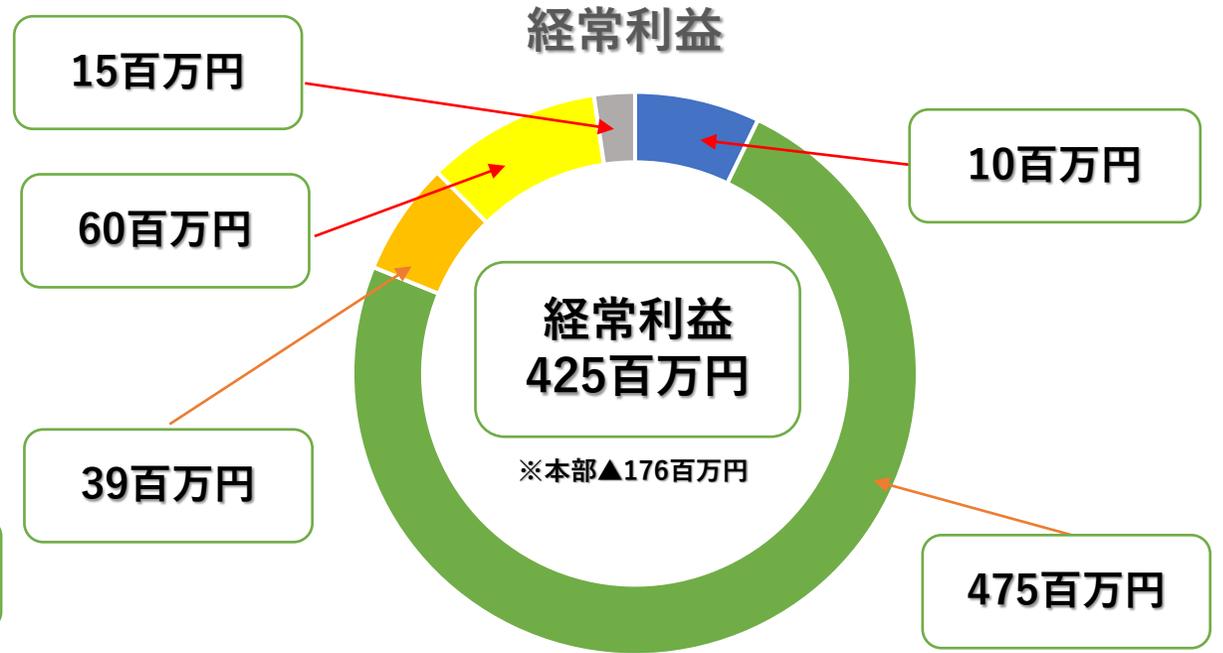
売上利益率 7.1%
（目標8.0%）

連結決算（セグメント比）

※セグメント売上及び利益は、セグメント間取引を含んでいます。



- 不動産建設事業
- 不動産賃貸事業
- 土地有効活用事業
- ホテル事業
- その他



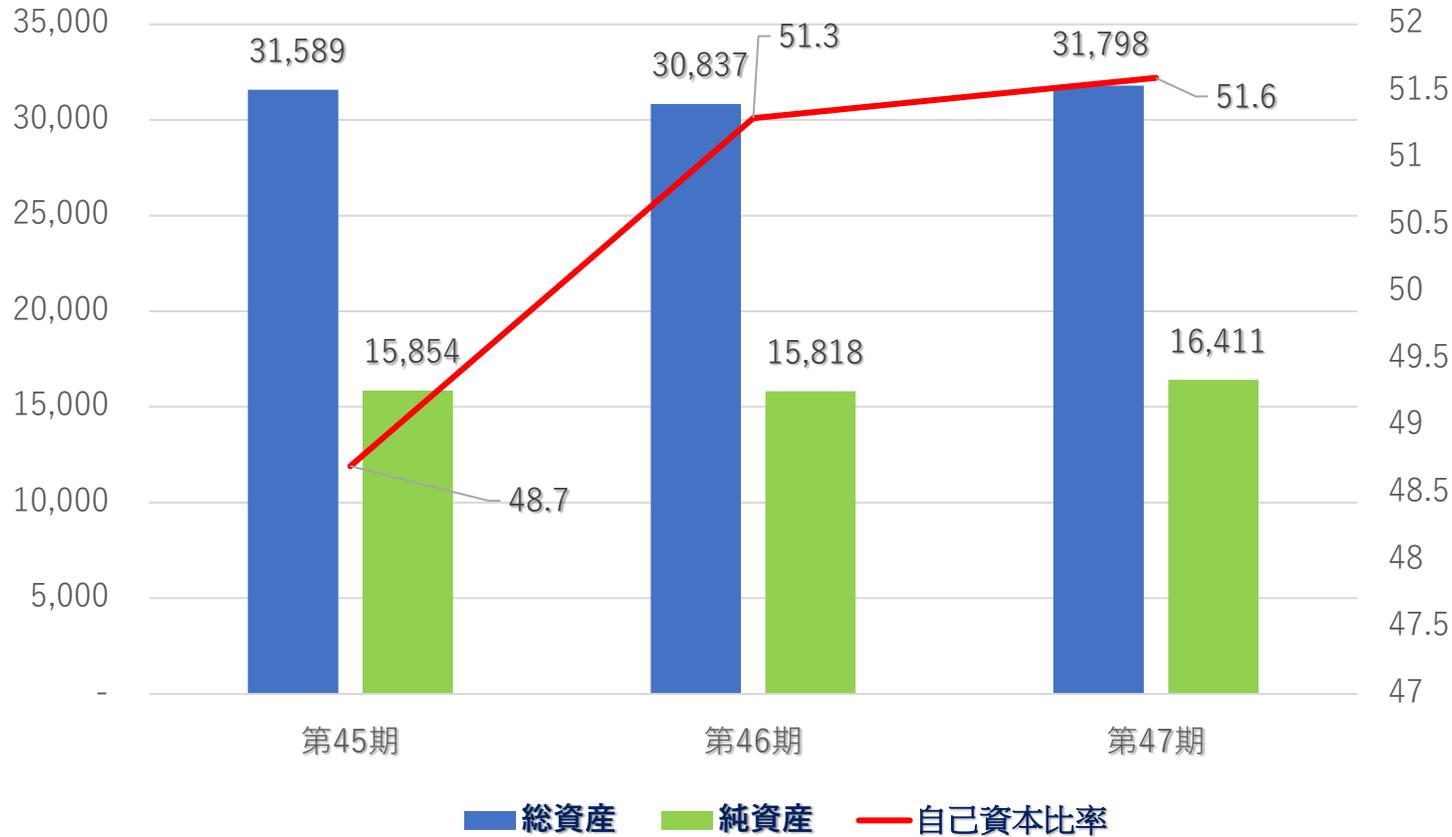
- 不動産建設事業
- 不動産賃貸事業
- 土地有効活用事業
- ホテル事業
- その他

※本部は、セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費です。

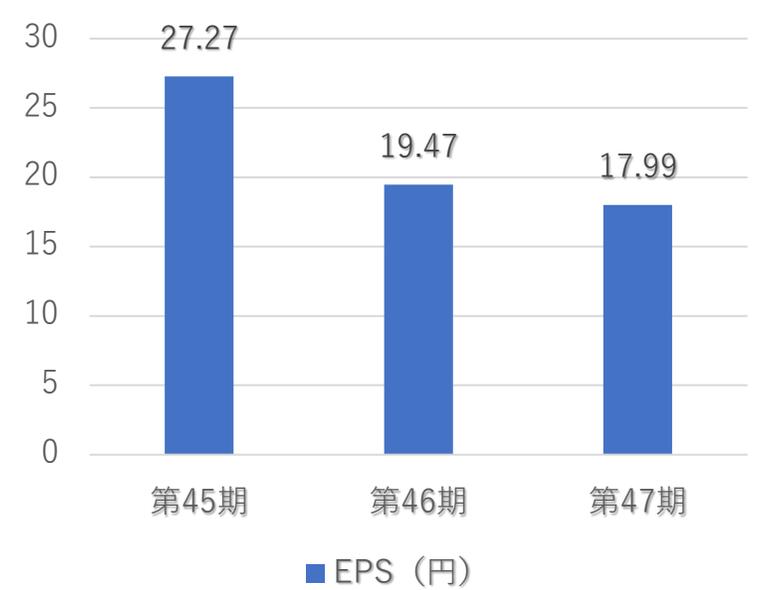
連結決算（サマリー）

総資産・純資産・自己資本比率の推移

（単位：百万円）

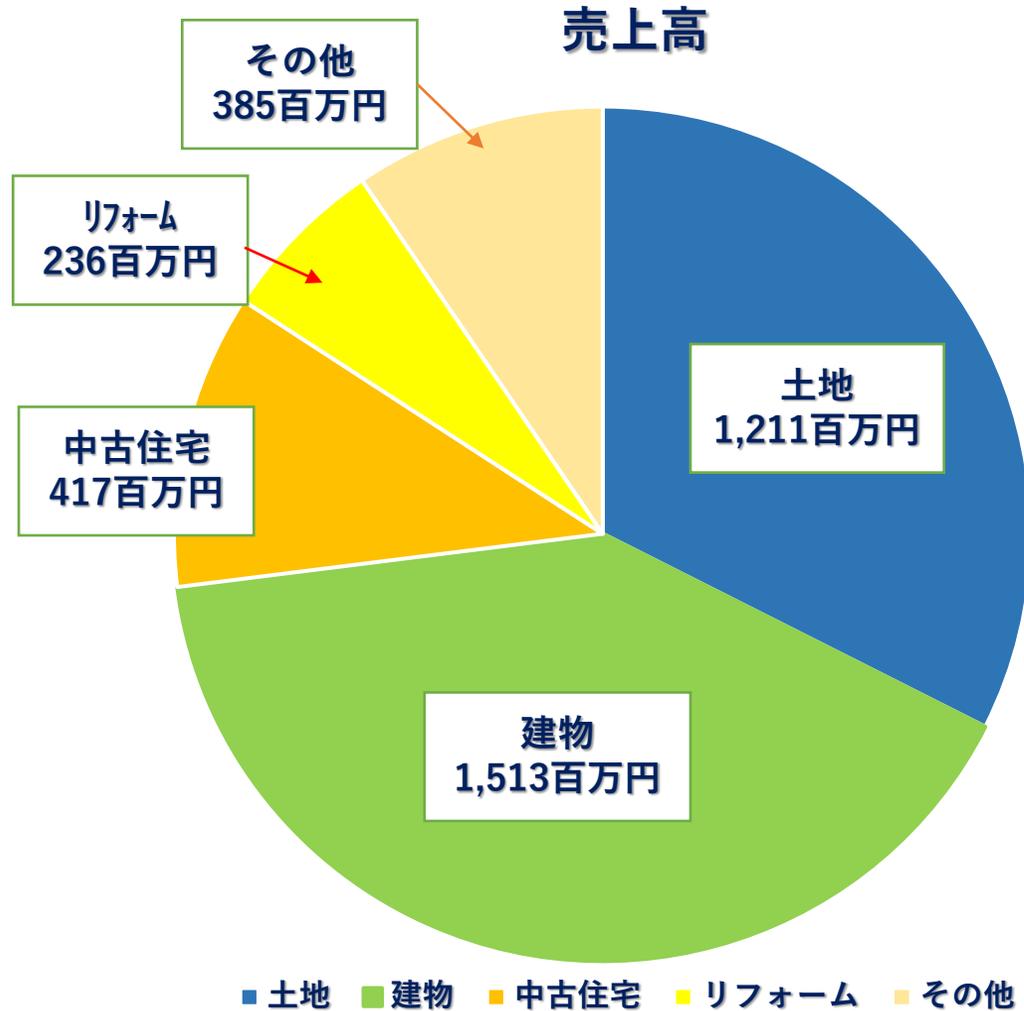


1株当たりの純利益（EPS）



当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。

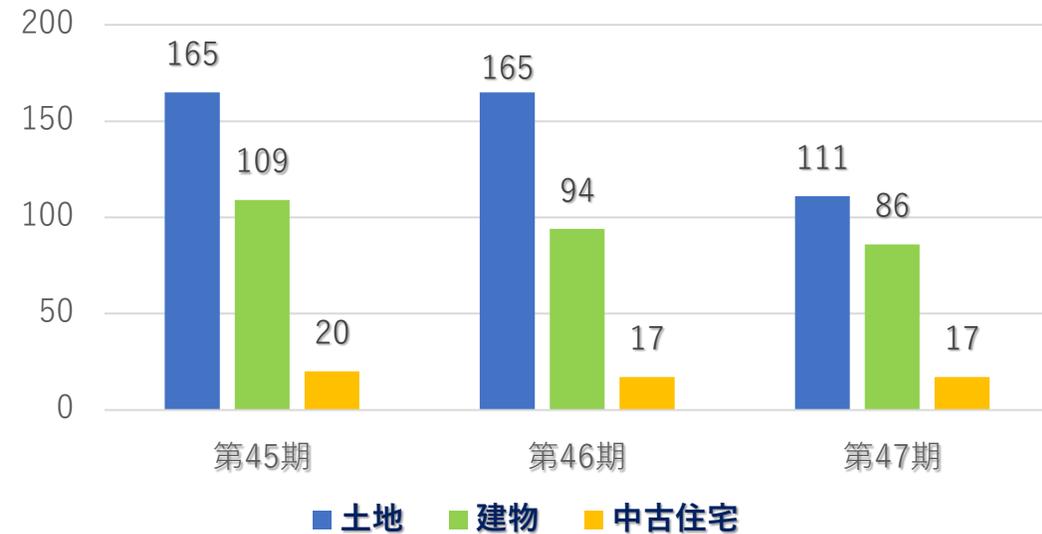
セグメント別実績（不動産・建設事業）



セグメント売上高 3,762百万円
 (前年同期比88.4%：予算比95.0%)

セグメント利益 10百万円
 (前年同期比 6.2%：予算比10.0%)

売上件数推移

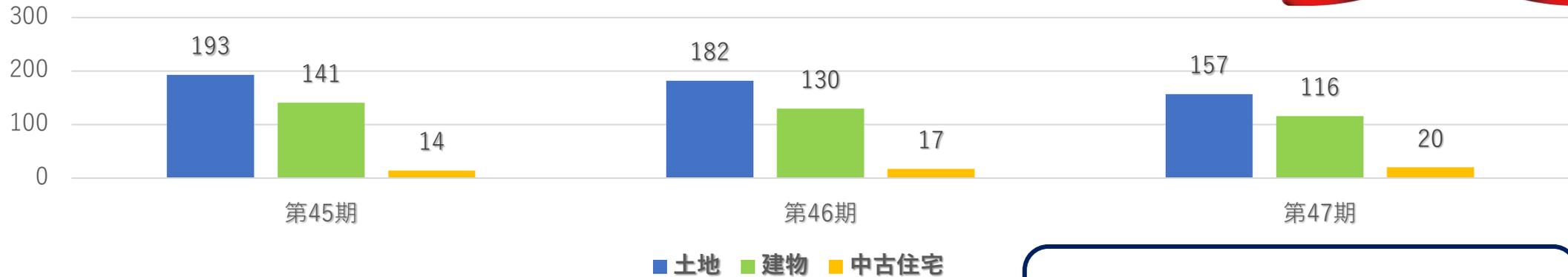


セグメント別実績（不動産・建設事業）

受注件数・受注残件数推移



受注件数の推移



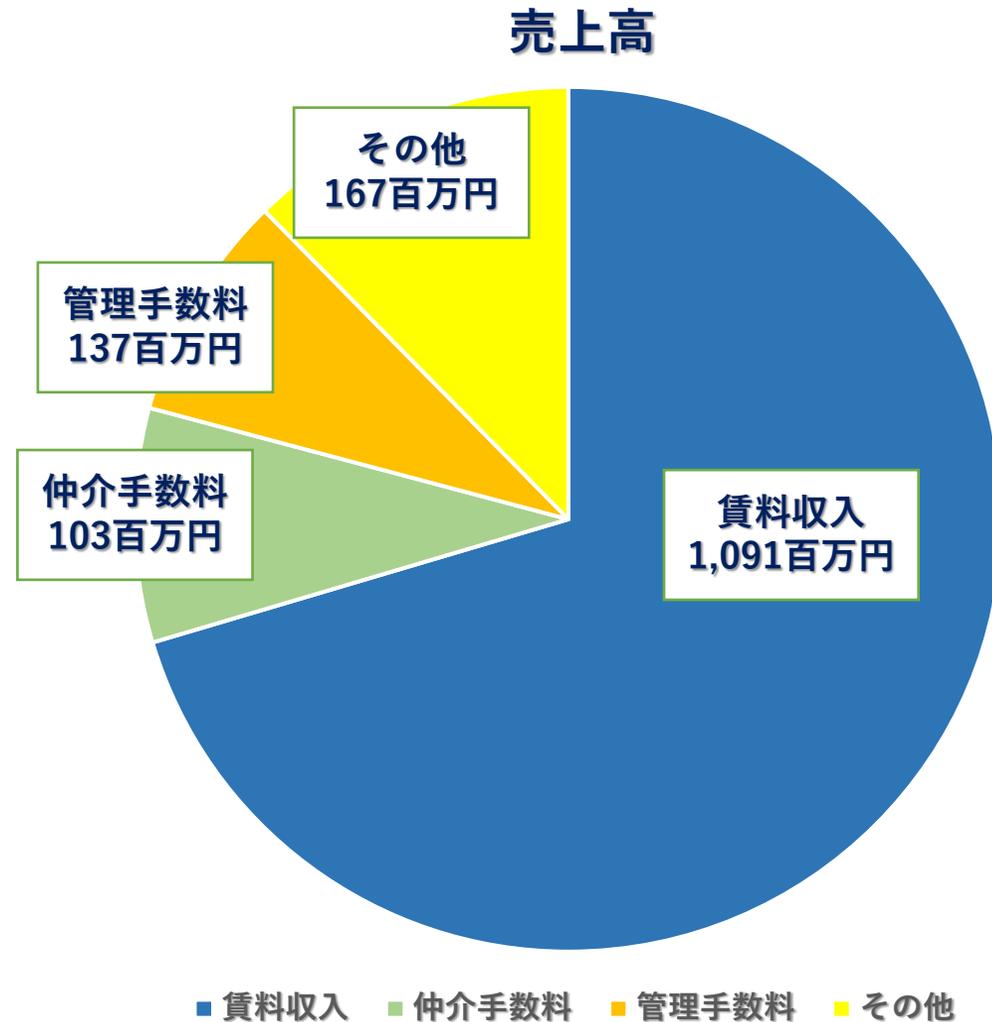
受注残件数の推移



受注残額は、前年比86.4%

セグメント別実績（不動産賃貸事業）

自社入居率 92.99%



セグメント売上高 1,498百万円
 (前年同期比103.8% : 予算比100.5%)

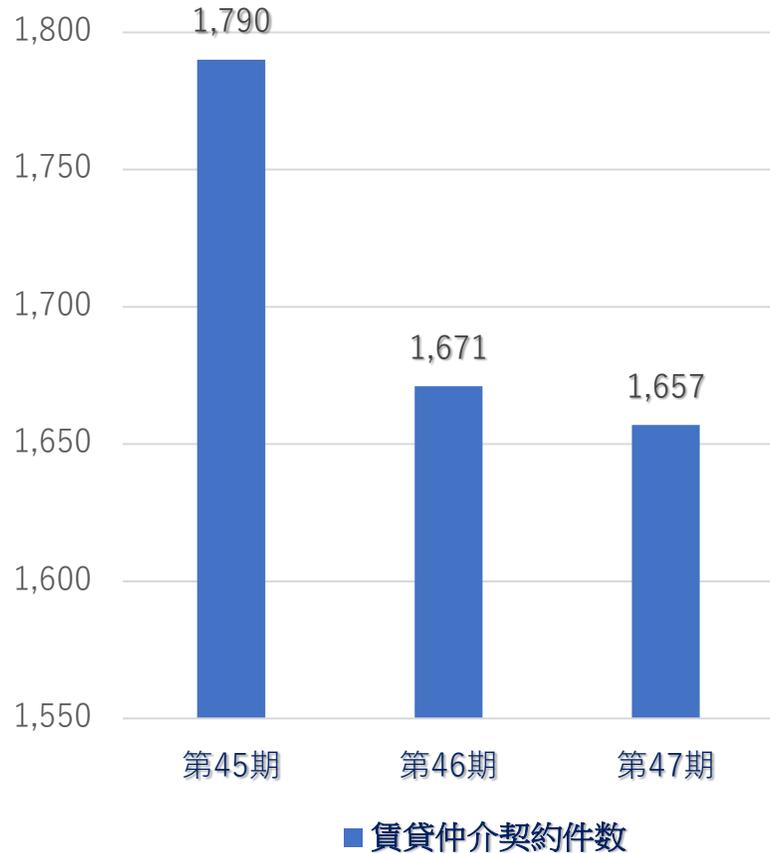
セグメント利益 475百万円
 (前年同期比98.5% : 予算比96.9%)

自社戸数及び管理戸数の推移



セグメント別実績（不動産賃貸事業）

賃貸仲介契約件数の推移



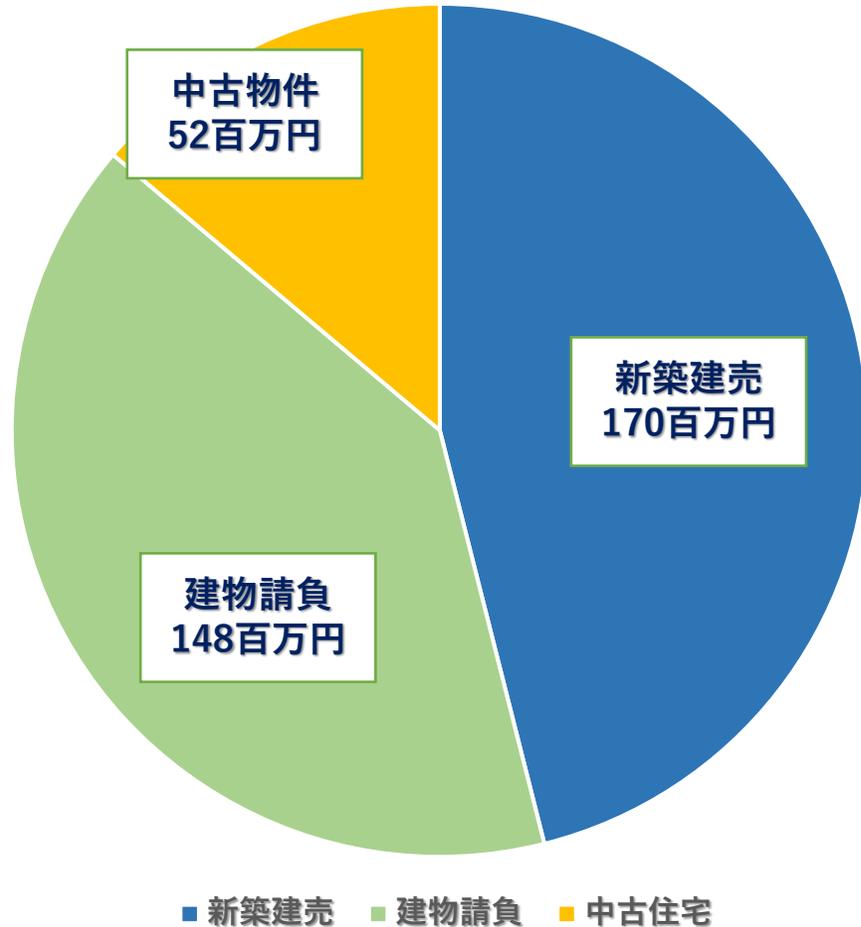
管理物件入居率
85.1%

Alliance Information

和歌山県職員労働組合/和歌山市職員互助会/和歌山県農協連専属提携/和歌山大学生協専属提携/県立医科大学生協専属提携/近畿大学生物理工学部指定/高野山大学専属指定/和歌山信愛大学専属指定/東京医療保険大学和歌山看護学部専属指定/和歌山信愛女子短期大学専属指定/宝塚医療大学和歌山保健医療学部/和歌山リハビリテーション専門職大学/県立高等看護学院/大原学園和歌山校/和歌山コンピュータービジネス専門学校/和歌山国際厚生学院/和歌山英数学館/和歌山YMCA国際福祉専門学校/和歌山口頭美容専門学校/IBW美容専門学校（順不同）

セグメント別実績（土地有効活用事業）

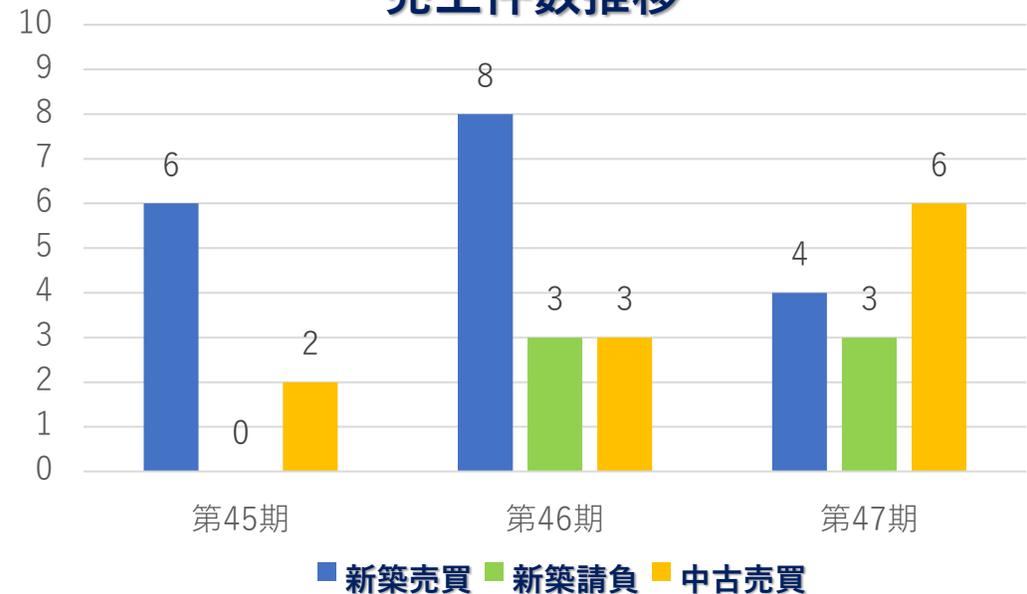
売上高・売上件数
売上高



セグメント売上高 370百万円
(前年同期比79.0%：予算比108.5%)

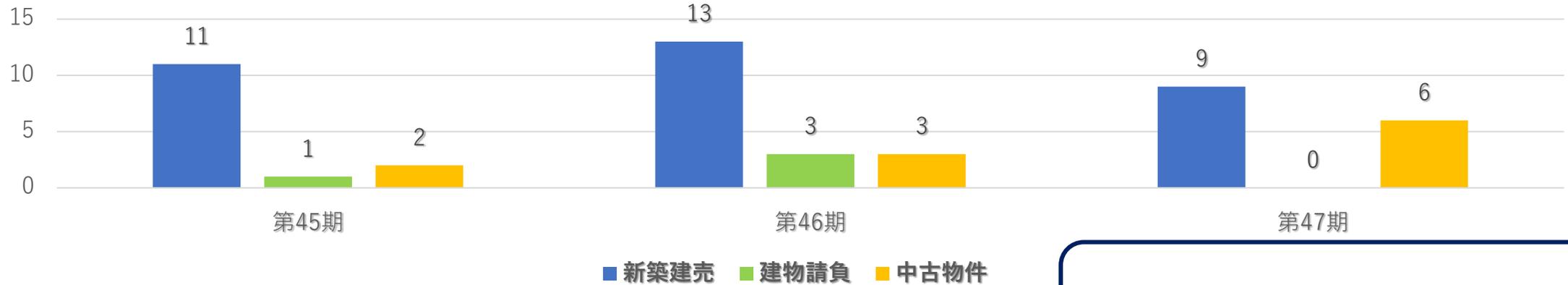
セグメント利益 39百万円
(前年同期比89.5%：予算比162.5%)

売上件数推移



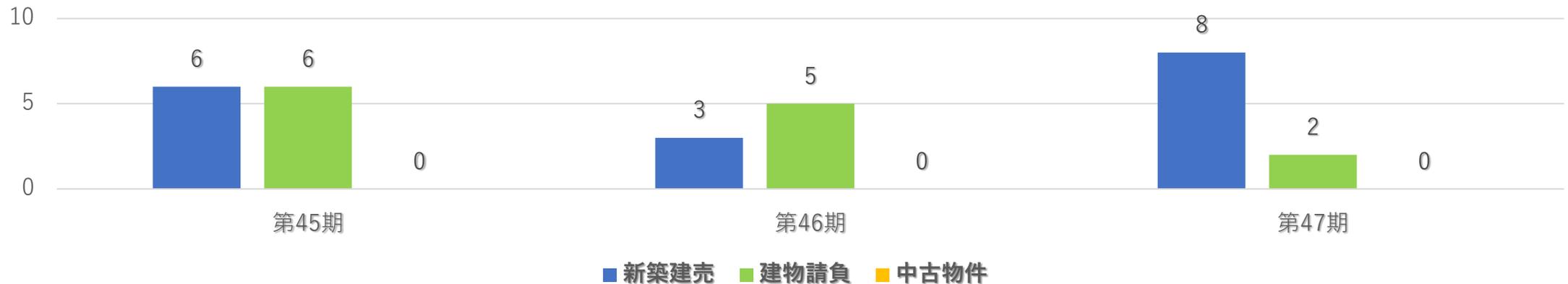
セグメント別実績（土地有効活用事業）

受注件数の推移

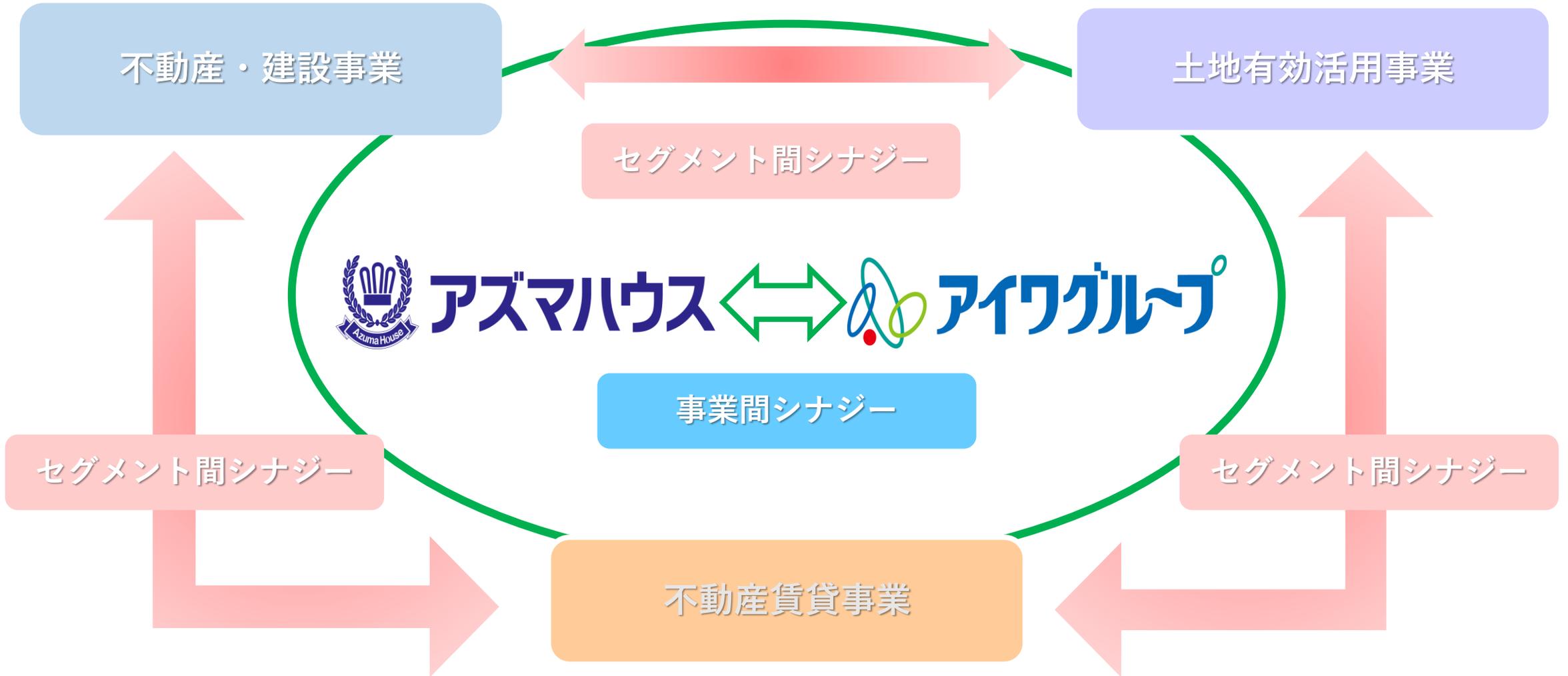


受注残額は、前年比220.4%

受注残件数の推移



セグメント間シナジー



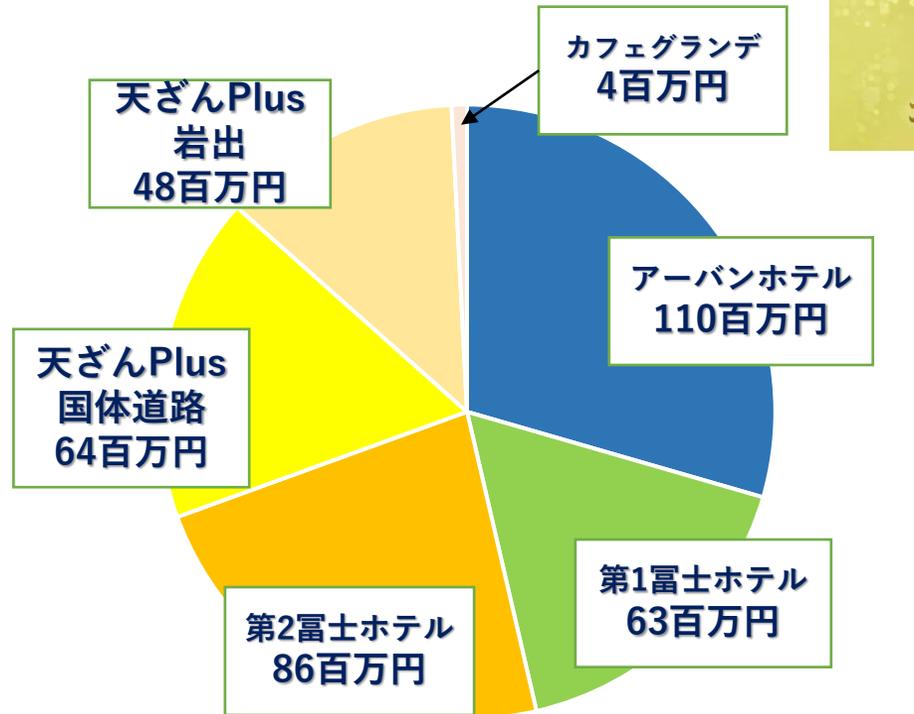
セグメント別実績 (ホテル事業)

セグメント売上高 375百万円
(前年同期比110.9% : 予算比100.0%)

セグメント利益 60百万円
(前年同期比301.6% : 予算比171.4%)

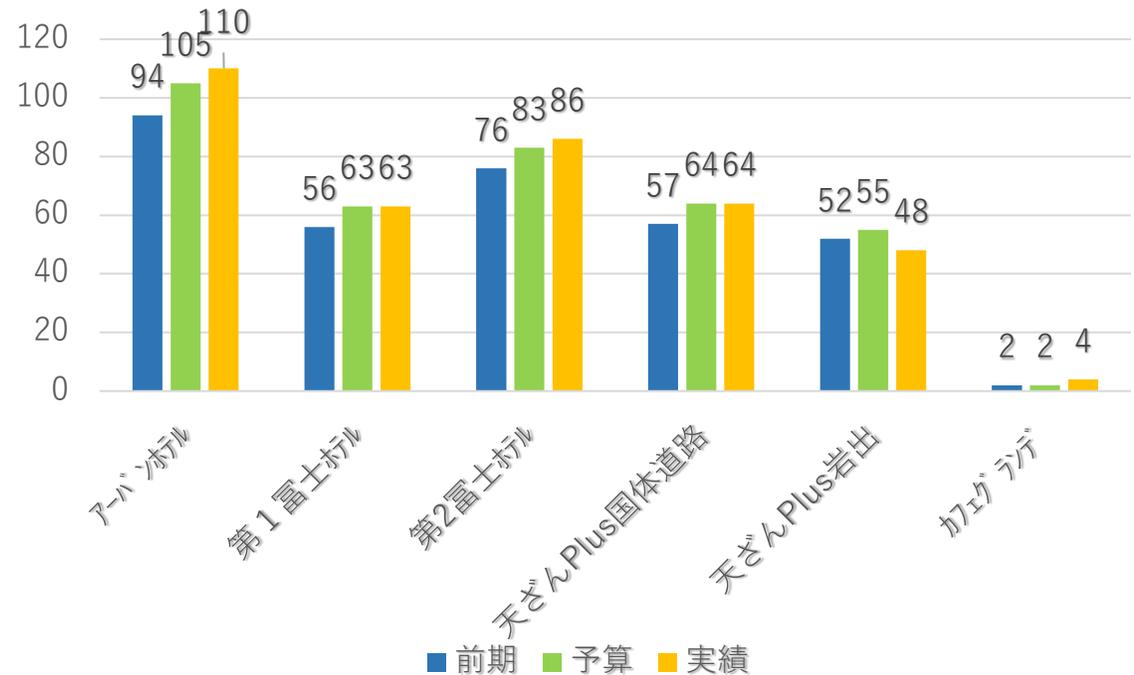


売上高



- アーバンホテル
- 第1富士ホテル
- 第2富士ホテル
- 天ざんPlus国体道路
- 天ざんPlus岩出
- カフェグランデ

前年同期・予算比較 (単位: 百万円)



ESG	マテリアリティ	取組テーマ	取組内容	SDGs
 <p>Environment</p>	<p>住み続けられるまちづくり</p> <p>住環境の向上</p>	<p>リノベーションによる長く住み続けられる家づくりを通じて、社会課題となっている空き家増加の解決に取り組み、住み続けられるまちづくりに貢献</p> <p>高水準な性能等級を有する住宅の建築やリノベーションなどによる性能向上を通じて住宅の耐震性能、省エネ性能、断熱性能を向上し、環境にも健康にもやさしく、長く住み続けられる家づくりを実践</p>	<p>中古住宅再生事業、ストック事業の推進</p> <p>耐震等級3レベルを実現した地震に強い家づくり、環境にやさしい太陽光発電付建売住宅の販売促進、断熱性向上によるヒートショック等の健康被害防止</p>	
 <p>Social</p>	<p>地域社会への貢献</p>	<p>地域社会の活性化に関連するイベントなどを通じ、雇用の促進や青少年育成のための支援活動を積極的に取り組み、持続的な地域社会の構築に貢献</p> 	<p>子ども食堂の運営、学童軟式野球大会の特別協賛、全日本ドッジボール選手権和歌山県大会の特別協賛、一般社団法人和歌山県サッカー協会オフィシャルスポンサー、地元採用イベントへの参加、日本赤十字社の活動支援、特定非営利活動法人国連UNHCRの活動支援、公益社団法人ユニセフ協会支援、パートナーシップ構築宣言、宇宙事業及び宇宙教育活動への支援、ドリームデイ・アット・ザ・ズー2023inアドベンチャーワールドの協賛、和歌山大学ソーラーカープロジェクト（BWSC2023）への支援</p>	
 <p>Governance</p>	<p>人権</p>	<p>ハラスメント禁止や働き方改革の実践により生産性向上を図りながら働きやすい職場環境づくりの取り組み</p> 	<p>「わかやま健康づくりチャレンジ運動」への参加、「健康経営優良法人2023（中小規模法人）」の認定、男性・女性社員にかかわらず育児休業を取得できる体制づくりと推奨、小学校就学前の子を養育する社員の時間短縮勤務、半日単位での有給休暇制度の整備、一般事業主行動計画の策定、コーポレートガバナンス、コンプライアンス</p>	

記載情報について

- ・本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- ・将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえで、ご利用下さい。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、お客様自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ
アズマハウス株式会社 経営企画部
電話 073-475-1018
E-Mail : ir_kanri@azumahouse.jp
URL : <https://azumahouse.com>